

令和4年度		学力創造プラン	日野第七小学校	第6学年
教科	児童の実態・課題		改善へ向けて	
国語	- 文章全体の構成や展開を明確にして、自分の考えが伝わるように書き表すことに課題がある。 - 前学年までの漢字や言葉などの基本的な言語の知識において、定着していない部分が見られる。 - 文章を読み取ることはできても、自分の考えを書くことについて苦手意識をもっている児童が多い。		○伝えたいことを効果的に伝えられるよう、書く前に構成表やメモを作成し、順序や構成を整理させてから取り組むように段階的に指導していく。 ○漢字の成り立ちや言葉の意味を紹介する等、漢字や言葉に興味をもてるような工夫を行う。また、辞書を手元に用意し、使えるような言語環境をつくる。 ○物語文や説明文なども場面で読み取ったことや考えたことを文章に表すことを積極的に授業に取り入れていく。	
社会	歴史的分野において、興味・関心のある部分が限定されており、時間的なつながりで比較・検討する力に課題がある。		○歴史的事象を前の時代や現在と比較しながらその歴史的事象について論ずることができるよう、授業の中で自分の考えを明確に示すような時間を設ける。 ○意図的に前の時代や後の時代と比較できるような資料の提示をし、つながりを意識させる。	
算数	どのようにして解決できるかを問われる場面で、積極的に自分の考えを表現することに課題がある。		○推理させながら自分の考えをもつように自力解決の時間を十分設ける。課題解決の過程で既習事項を活用したり、自分なりの解決方法を考えたりしたよさを見取り、自分の考えに自信がもてるようにする。	
理科	実験や観察を適切に円滑に進める技能が高い。一方、実験などの結果から科学的事象についての考えを深めたり、生活と結び付けて考えようとしたりする能力に課題がある。		○発展的な思考力を伸ばすために、実験の方法を考える段階で児童の柔軟な工夫に対応できるように準備する。また、身近な自然に親しんだり、科学と生活が結びつく職業に携わる方々の資料を生かしたりするなどして、科学的事象について関心を高められるようにする。 ○家庭学習の中で chromebook を使いながらその単元末についての深い学びができるように新たな課題を設定させてそれを解決するような課題を提示する。	
音楽	思いや意図を音にのせて表現するための意欲や技能に課題がある。		○楽譜に書いてある記号や強弱の理由を考えて作曲者の思いを読み取らせる活動を取り入れる。また、多様な楽器に触れさせることで、奏法や音色への関心を高められるようにする。	
図画工作	- 想像したこと、発想したことを表現することに自信がもてない。 - 既習事項を生かして表現方法を考えたり、工夫したりする総合力に課題がある。		○作品作りの前に素材・材料に触れる時間を設定し、見通しがもてるようにする。 ○今まで学習してきたことを取り入れて授業を展開する。	

		○chromebook を活用し、鑑賞でお互いの作品のいいところを伝え合う時間を設定する。
家庭	・裁縫の生活体験が少なく、作業に不安がある。	○裁縫では、実践的な学習の時間を十分確保し、技能の習熟が図れるようにする。
体育	・跳び箱運動やマット運動など、体の思うように操作する運動で苦手な面がみられる。	○学習の場や工夫を資料映像などで提示し、課題を解決するための場の工夫や練習の工夫を取り入れ、技能の向上を図っていく。
特別の教科 道徳	・生命を大切にする気持ちや集団の中の人間関係について、実践力に結び付けていこうとする意識がまだ十分ではない。	○生命の尊さや相互理解、寛容について、人とのかわりの中で考え、より身近に感じることができるようにする。 また、よりよい人間関係を築こうとする意識を高めるため、ロールプレイを取り入れた指導をしていく。
外国語	・アルファベットの大きさに気を付けて書いたり、日本語音声にならないように気を付けて発音したりする力を習得していくことが課題である。	○音声資料や ALT を活用して、日本語との違いに気付かせながら、4 線に正しく書けるように指導していく。1 時間の中に、読む・書く時間を位置付け、習熟が図れるようにしていく。
総合的な 学習の時間	・自らの課題を設定して、調べたいことが見つからないことがある。 ・調べたことを、相手意識をもってまとめる力に差がある。	○課題を設定する際、自分が興味をもてるような課題なのか、なぜその課題にするのかを明確にし、設定するようにさせる。また、イメージマップなどの思考ツールを活用しながら、興味をもてるような課題を見付け、選択できるようにする。 ○何を伝えたいのかを明確にさせ、その内容をクローズアップさせる例示を示すようにする。表現の仕方は児童の表現力に合わせて作成するように支援をする。
特別活動	・集団の中で自分の考えや意見をもっているが、自らの考えを発表する積極性にやや欠ける。	○小集団で話し合う機会を増やし、自分の考えをアウトプットする機会を設け、自分の考えに自信をもたせて発表できるように支援する。その上で学級全体での意見交換を通して、集団の意見をまとめる力つけていけるようにする。